帝野外上映会〔イワン雷帝〕

京都国立近代美術館＋東京国立近代美術館
フィルムセンター共催フィルム・プロジェクト

ロシア初代皇帝（ツァーリ）として帝国の強大化に尽力したイワン4世（雷帝）の栄光と悲劇を描いた大作「イワン雷帝」は、「戦艦ポチョムキン」（1925）、「十月」（1927）などで知られるソビエト映画の巨匠、セルゲイ・エイゼンシュテイン（1898-1948）最後の作品です。ロシア帝国の礎を築いた英雄の側面を強調した第1部はスターリンの評価を得ましたが、独裁者の孤独を描いた第2部は、体制批判を暗示するとして上映禁止の処分を受け、スターリンの死後の1958年まで、この作品が公開されることはありませんでした。撮影が進められていた「イワン雷帝」の第3部は、4巻までが完成していた素材の大部分が破棄されるという、数奇な運命をたどった作品としても知られています。「イワン雷帝」は綿密に計画された絵画的な構図や様式的な演技、第2部の最後で使用された（エイゼンシュテイン作品では唯一の）カラー撮影をはじめ、映像・音・色彩のあらゆる細部にエイゼンシュテインの芸術理論の集大成を見ることができます。

●ハンガリアン・ダンス5番（3分・35ミリ・白黒）STUDIE 7(UNGARISCHER TANZ No.5)/31（監）オスカー・フィッシンガー（音）ヨハネス・ブラームス●アイーダのバレエ音楽（5分・35ミリ・白黒）STUDIE 10(BALLET MUSIK AUS AIDA)/32（監）オスカー・フィッシンガー（動画）ハンス・フィッシンガー（音）ジュゼッペ・ヴェルディ●モーツァルトのメヌエット（5分・35ミリ・白黒）STUDIE 11(MENUETT VON MOZART)/32（監）オスカー・フィッシンガー（音）W・A・モーツァルト●ドイツのアニメーション作家、オスカー・フィッシンガーが発表した「習作」シリーズの中の3本。図形の動きを音楽に乗せた抽象映画で、日本では「光の交響楽」シリーズとして知られています。

●第1部＝1944年（アルマ＝アタ中央連合撮影所）99分・35ミリ・白黒 ●第2部＝1945年（アルマ＝アタ中央連合撮影所・モスフィルム）85分・35ミリ・バートカラー ●監督・脚本＝セルゲイ・エイゼンシュテイン

●撮影＝エドゥアルド・ティッセ ●音楽＝ヨシフ・シュレイ・モスクヴィン ●美術＝セルゲイ・プロコフィエフ ●出演＝イワン雷帝：ニコライ・チェルカーソフ ●アナスタシヤ王妃：リュドミーラ・ツェリコフスカヤ ●エフロシーニャ（皇帝の伯母）：セラフィーマ・ビルマン ●ウラディーミル・エフロシーニャの息子）：パーヴェル・カードチニコフ ●アンドレイ・M・クルブスキー：ミハイル・ナズヴァーノフ ●フョードル・コリチェフ（後のモスクワ大司教フィリップ）：アンドレイ・アブリコソフ

ИВАН ГРОЗНЫЙ

2008年8月1日（金）

午後7時30分▼午後11時（開場は午後6時30分）
雨天順延（8月2日、雨天の場合は中止）
●第1部＝午後7時30分▼9時10分…（休憩）…
●第2部＝午後9時30分▼11時（イワン雷帝の上映に先立ち、7時15分より、オスカー・フィッシンガーの抽象映画を上映いたします。

京都国立近代美術館

●会場＝敷地内駐車場（岡崎公園内）

●主催＝京都国立近代美術館、東京国立近代美術館フィルムセンター
●料金＝500円（税込）
※先着250席、当日券のみ（開催当日の午前9時30分よりチケット売り場で販売）●お問い合わせ＝京都国立近代美術館〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 電話：075-761-4111 ●ホームページ＝http://www.momak.go.jp
●交通＝・京阪電車「三条」駅下車徒歩約15分・地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約5分・JR・近鉄京都駅前（A1のりば）から市バス⑨岩倉行「京都会館美術館前」下車すぐ・JR・近鉄京都駅前（D1のりば）から市バス⑩（急行）銀閣寺行「京都会館美術館前」下車すぐ・阪急烏丸駅・河原町駅・京阪三条駅から市バス⑤岩倉行「京都会館美術館前」下車すぐ・阪急烏丸駅・河原町駅、京阪四条駅から市バス46平安神宮行「京都会館美術館前」下車徒歩約5分
又は「京都会館美術館前」下車すぐ・市バス他系統「東山二条」

●美術館には駐車場がありません。岡崎周辺の市営駐車場をご利用ください。当日は特別営業として午後11時30分（通常、10時30分閉門）までです。（駐車場料金の割引はありませんのでご了承ください）